

2018年度(平成30年度)

冬休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

☆幼児

				
大草原にある「ゴンラのやきいもや」は大人気。「心までとろけるおいしさ」と評判。毎日、毎日、いものことだけを考えて一心不乱に取りくむ姿は、まさに職人。動物たちはみんな待っています。	風の強い秋の日の夕方、エレンと母さんは手をつなぎ歩きます。「ねえ、かあさん、なにがえってるの？」エレンが聞いたかった一言は？親子の愛情あふれる一時を温かく描いており、親子で読んでほしい絵本。	田島征三とアーサー・ビナードが雪国の森の奥で見つけた、鼻先からしっぽまで包まれる物語(帯より)	道端で、ダンスをはじめたワニ。たくさんのお金を稼ぎました。ある日、出会ったワニの子もたちは、ワニのダンスを見て、たくさんのお金をくれました。	山からコロコロと転がり落ちたたまご。一体誰のたまごでしょうか。太陽が、沈んでいきます。そのとき、太陽の光がたまごを照らして・・・
ポプラ社 1300円＋税	徳間書店 1700円＋税	くもん出版 1400円＋税	エンブックス 1400円＋税	KADOKAWA 1400円＋税

☆小学校・低学年

				
とんがりぼうしのオシップが赤い糸を見つけた。ずんずん糸を手繰っていった先にいたのは・・・？挿絵も魅力的です。	火をふいて誕生した島。それは赤ん坊の誕生と同じ。赤ん坊が産まれ生きるように、大地も生きています。	風が強くふいていて、男の子は外に遊びに行きたくてたまらない。けれど、おじいちゃんとはたこあげをしようと、たこ探し。風の日を楽しむ おじいちゃんと男の子をファンタジックに描いた絵本。「あめのひ」姉妹編	一人ぼっちで遊ぶドンドンが見つけたのは、6つのあめだま。食べると、ソファの音が聞こえて、犬のグスリとも話せて・・・あめだまを通して周囲の愛に気づく少年の物語。	お母さんが泊まりがけで仕事に出かけた日、スタンリーは、庭に出て宇宙船に乗りこみ火星へ飛びたった。すると、入れ替わりにやってきたのは・・・母のいない、さみしさを隠す少年の姿がいじらしい絵本。
BL出版 1400円＋税	偕成社 1500円＋税	徳間書店 1600円＋税	ブロンズ新社 1500円＋税	あすなる書房 1400円＋税
				
立ち止まって遠くをながめると、何が見える・・・？ハスの葉にとんできたカエルが一番高く美しい葉の上に行き、じっとしています。カエルが大事にしていた思いとは？	ファーマーズ・マーケットで買ったかぼちゃは、抱っこするのにぴったり、ソフィーは「本当のおともたち！」と大喜び。でも、次第に傷んでいくかぼちゃにソフィーは・・・	森の奥深くに見つけた古い家は誰が暮らしていたのだろうか。子ども達の想像はどこまでも広がるのでした。挿絵も魅力的です。	不思議なバッタロボットに乗って世界の大自然を冒険します。面白く知識欲をわきたたせる絵本です。	クリスマスのお人形ホリーと、孤児院に住んでいたアイビーが、お互いを見つけ「安心できる自分の場所」にたどりつくまでのお話です。シリーズ「四つの人形のお話」3
樹立社 1500円＋税	光村教育図書 1400円＋税	BL出版 1600円＋税	ポプラ社 1500円＋税	徳間書店 1400円＋税

☆小学校・中学年

				
<p>クリスマスイブなのに、両親は仕事のため留守で、ベビーシッターにもほったらかしにされたテオ。流れ星に「誰か一緒にいて」と願うと、古い飾りが動き出し…。 絵が美しい物語。</p>	<p>ナージャが、本当に体験した5つの国の5つの学校。「えっ！」「そうなの？」「本当かな？」、教室が違くと、面白いことがいっぱい。 ナージャと一緒に学校の旅に出てみよう。</p>	<p>「字なんて読めるならいいじゃん」と思っているタツヒコ。そのタツヒコが友達に一字一字丁寧に手紙を書くように…。ミチコ先生の指導とは？字について楽しく考える物語。</p>	<p>電話の発明で知られるベルを子ども時代から描いた伝記絵本。 字は小さめだが、ゴシック体で、総ルビがあり、ページのなかに言葉の説明や写真・絵もある。</p>	<p>南アルプス山麓に住む 藤吉じいさんと、町で育った孫の一郎と山のイノシシのちょっと変わった出会いの本。 棕 鳩十の世界を気鋭の画家の絵で味わえます。</p>
<p>ゴブリン書房 1500円＋税</p>	<p>大日本図書 1400円＋税</p>	<p>講談社 1300円＋税</p>	<p>廣済堂あかつき 1600円＋税</p>	<p>理論社 1500円＋税</p>
				
<p>北極海とその周辺の陸地の氷と雪の上で生きているホッキョクグマ。 実際は、ほとんど目にする事のない野生のホッキョクグマの生態を子どもの目を通して伝えている。</p>	<p>配られた時間割に、墨汁が飛び散った。 わたしの時間割にあった、月曜日の「体育 鉄棒」が、墨汁の消したとおりに本当になくなってしまった…。 これって、偶然？</p>	<p>動物や昆虫たちにつつまれるおもしろい話が120書かれていて、人間と比べながら楽しく読むことができる。 色と絵が明るい。</p>	<p>2016年の熊本地震で、一家で被災したイラストレーターの著者による被災者の様子を描いた絵本。 絶望のむこうに着者がみだした生きる力と希望のかたち。</p>	<p>星を見る第一歩として、一等星を見つめられるようにと、作られた本。 オリオン座、冬の大三角、冬のダイヤモンド…。 実際に夜空に観察にいっ前に、ぴったりのシリーズ。</p>
<p>BL出版 1600円＋税</p>	<p>学研プラス 1300円＋税</p>	<p>ポプラ社 1500円＋税</p>	<p>ポプラ社 1400円＋税</p>	<p>新樹社 1400円＋税</p>

☆小学校・高学年

				
<p>交流会の案内を出したのに、ちっとも来てくれない佐山さん。実は目が不自由なおばあさんだった。 亡くなったおばあちゃんと佐山さんを重ね合わせ、こっそり点字を勉強し始める6年生の大地が、人との出会いによって成長していく物語。</p>	<p>誕生日のプレゼントの一つとして、お母さんが買ったタ張メロン。そのメロンの箱の中に1通の手紙が入っていた。そこから、東京とタ張の遠く離れた二人の少年の大冒険が始まった。 まるごとタ張のことが詰まった1冊。</p>	<p>愛犬を亡くしたヤコブ。もう二度と犬なんて欲しくないと愛犬の死を受け入れられずにいた。そんな時、迷い犬を町でよく見かけるようになる。 彼と迷い犬との心がつながっていく成長物語。</p>	<p>9.11東日本大震災により津波被害など様々な困難がおそいかかった縫製工場・オйкаワデニム。 地元の人からもデニムさんと愛され、いくつもの大波小波を乗り越えて、復興のミシンが音を響かせる。</p>	<p>2歳の時に原爆により被爆した中村さん、なんとか生き延びたが「ゲンバク」と呼ばれ、いじめや差別を体験します。 70年以上の年月が流れ、今、子どもたちに伝えたい平和への思い。</p>
<p>くもん出版 1400円＋税</p>	<p>河出書房新社 1300円＋税</p>	<p>文研出版 1400円＋税</p>	<p>佼成出版社 1500円＋税</p>	<p>講談社 1200円＋税</p>

				
パラリンピック陸上の重本選手は、生まれつき右うでのひじから先がない。小学校から大学生までずっとハンドボールの選手として活躍してきた。本格的にパラ陸上に取り組みようになり「障がいのある自分」と向かい合う。	親友ハンナと最近気持ちのすれ違いを感じていたリリーは、ラッキーのおかげでサルマに出会います。ブルーベリー農園で働く出稼ぎ労働者のサルマの美意識や前向きな姿勢に感化され、新しい挑戦をします。2人の成長と友情が清々しい1冊。	院内学級の赤はな先生をしている著者が、子どもたちとの出会いを通して「生きていく」ことについて考えたことを、分かりやすく語りかけてくれる。自分・友達を考えるきっかけになる。 ノンフィクション「知られざる世界」シリーズ	校庭に雷が落ちてタイムスリップした6年生の紺野瞬。謎の少女青木美月を巡って更に過去を歩き来し、自分の周りの人たちのつながりや歴史を知り、自分自身でジャンプする強さを見つけていく。	ケチで欲張りな両親。息子のプリモは、とても心優しい男の子。そんな息子に欲張りさを教えこむため、よくばり学園に入学させます。よくばり学園に革命を起こす、プリモのドタバタ物語。
ポプラ社 1300円＋税	あかね書房 1400円＋税	金の星社 1400円＋税	文研出版 1300円＋税	講談社 1450円＋税

☆中学校

				
ベストセラー『ざんねんないきもの辞典』監修者が、動物学者になるまでと、これまでの人生を語る。	立ち入り禁止の森にあった泥。わけのわからない病気。人類初のクリーン・エネルギーの正体は。	8歳からの2年あまりをインドネシアの抑留所で過ごしたオランダ人女性が、当時使っていた品々に絵に寄せて、子どもの目から見た戦争と抑留生活を語る。心に残る記録。 (カバーより)	絵本「パパはわるものチャンピオン」を原作とする映画の脚本をもとにしたノベライズ。	千葉県八街少年院での「保護犬」を訓練するプログラム。犬と少年が心を通い合わせ、共に成長していく。
講談社 1200円＋税	小学館 1400円＋税	徳間書店 1600円＋税	岩崎書店 1300円＋税	講談社 1300円＋税
				
12歳のグレイソンは女の子の姿になりたい少年。学校でも、親が亡くなってから引き取られた叔父の家でも、秘密を抱えて生きている。	“いい男狙い”で、運動部のマネージャーを志望した咲良は、しだいに考えを変えていく。高校陸上部青春物語。	昭和16年の大阪。小学3年生の笑生子とその家族は、戦争に翻弄されていく。	ドイツ軍に占領されていたデンマークに「チャーチルクラブ」という抵抗活動を行った少年たちがいた。彼らの一人が語る。	昔住んでいた家を懐かしむ祖父を気にかける拓真。家を修理し、憩いの場にするために、「クラウドファンディング」に挑戦する。
学研プラス 1500円＋税	小学館 1400円＋税	ポプラ社 1500円＋税	小学館 1500円＋税	PHP研究所 1400円＋税

☆高等学校

				
<p>都内随一偏差値最低の高校に通う伊織は、仲間4人でバンドを結成する。兄の助力を受け伝説的なロックバンド「ニードルス」が誕生。 天賦の才の輝きと破滅を描くロック小説。</p>	<p>ヴェネツィアの古書店主の「代々、本の行商人でした」の一言からそれは始まった。 イタリア在住の著者が追いかけた本と本屋の素敵な物語。</p>	<p>ミッション系の女子高に通うクールな秀才とほんわか娘。学校だけでは喋り足らず手紙を交換している。 高校から大学、そして40代になった二人の人生を書簡で描く。</p>	<p>ワンフレーズ、ワンアクションがたまたま大当たり！ そのフィーバーと後の凋落と挫折。 そんな一発屋芸人たちのその後の人生のノンフィクション。</p>	<p>介護に直面した若者(18歳以下と規定)に関するレポート。 理由や環境は様々であるが、孤独な立場と辛さが増幅する現実は厳しい。 中公新書2488</p>
<p>KADOKAWA 1700円＋税</p>	<p>方丈社 1800円＋税</p>	<p>KADOKAWA 1600円＋税</p>	<p>新潮社 1300円＋税</p>	<p>中央公論新社(中公新書) 800円＋税</p>